

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アトリエぼてりー		
○保護者評価実施期間	令和7年1月14日		～ 令和7年2月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	令和7年1月14日		～ 令和7年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日の職員会議を通して、職員間での利用者の情報共有が密にされていること。	一人一人の振り返りを行ない、何か課題があった場合にはそれに向けての方向性について職員間で話し合う時間を設けている。	引き続き、職員会議の時間を確保する。長期休暇中は時間を取るのが難しいので、長期休暇中の情報共有では、LINEやデイロボのソフトなどを活用する。
2	同一法人内に別の放課後等デイサービスの事業所や学童サービスがあるので、幅広い年齢との交流ができる。	集団活動やお出かけなどのイベントを通して、定期的に交流する場を設けることが出来ている。 現在、地域の学校のPTA活動と協力したイベントなども企画できている。	他事業所や、地域の学童、学校のPTA活動と協力してイベントを企画し、交流する時間を設ける。
3	制作活動に特化した事業所なので、専門分野の職員を配置できおり、利用者のストレングスを伸ばしたいという保護者のニーズに合わせた支援が出来ている。	展覧会などの企画を通して制作発表の場を設けることで利用者の自信に繋がる支援が出来ている。また、保護者との連絡を密に取ることで、抱えている課題を把握し、それに合わせた支援について一緒に考えることが出来ている。	利用者の、就労に向けて、利用者の得意分野を活かせるよう、作品の販売などの体験を企画していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	帰りの時間に職員間での支援の振り返りを行うことが難しい。	原則、帰りの送迎を行っておらず、職員の終業時間まで利用者がいることが多いため。	当日の振り返りは翌日の職員会議で行っている。また、緊急で情報共有が必要な場合には、随時LINE等を使って情報共有できている。引き続き同じ方法で対処していきたい。
2	バリアフリー化ができていない。	古い建物で、借家なので大規模な改修は難しい。	利用者の状況について詳しくアセスメントを行い、設備的に受け入れが難しい利用者については、他の事業所を紹介するようにしていく。
3	整理整頓が難しいことがある。	材料や道具など、物が多く、利用者の作品などが溢れてしまうため。	定期的に整理する時間を設け、利用者自身にも整理するよう促す。